


●最近の県内経済

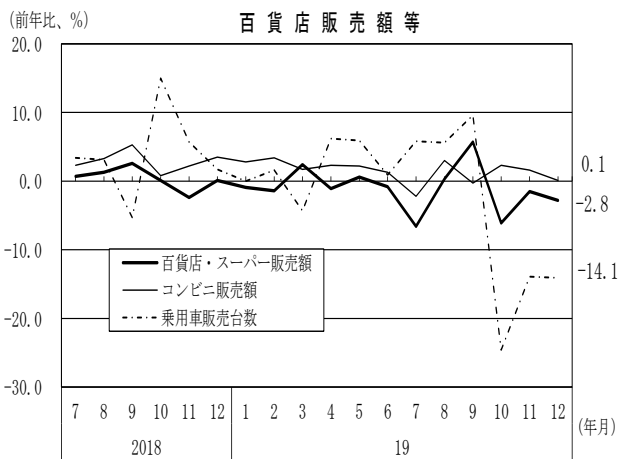
基調判断
(2019年12月を中心として)



今月の概要

県内景気は、減速している。

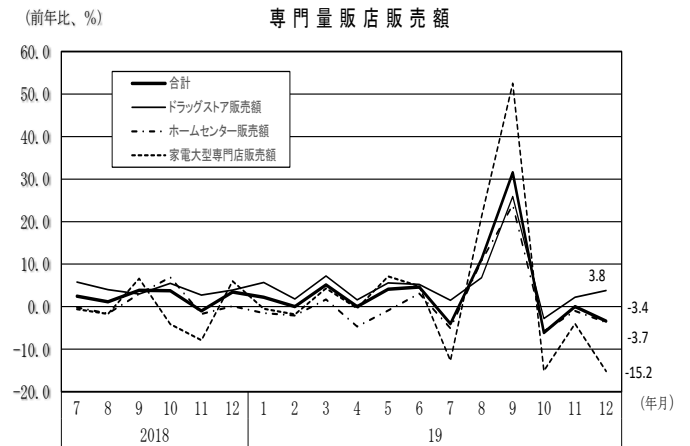
1 個人消費 足元減少



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売店協会など

12月の百貨店・スーパー販売額(店舗調整前)は、1,037億円の前年比2.8%減と3か月連続の減少となった。百貨店が同5.5%減、スーパーは同2.0%減と、ともに減少した。一方、コンビニ販売は、556億円で同0.1%増となった。

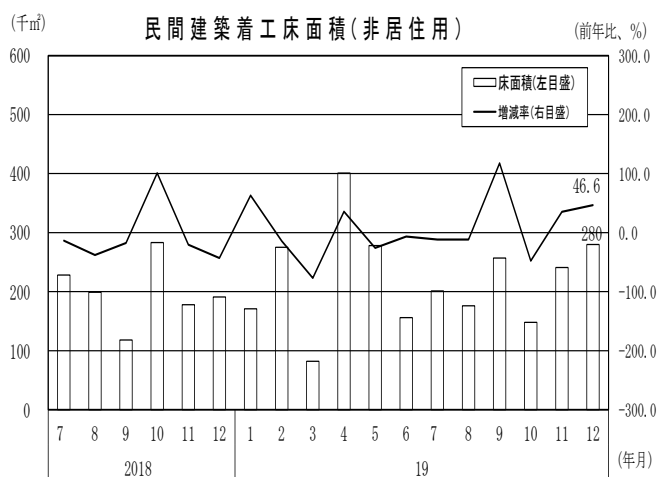
乗用車販売は、同14.1%減と3か月連続の減少となった。内訳をみると、普通車(同16.6%減)、小型車(同9.7%減)、軽乗用車(同15.1%減)いずれも減少した。



(資料) 経済産業省

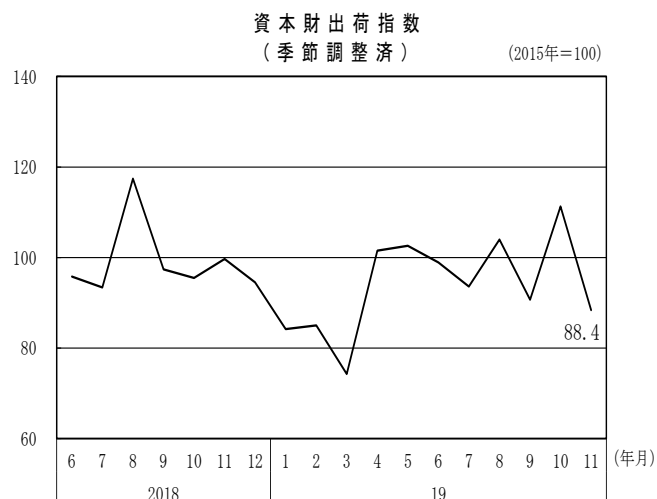
12月の専門量販店販売額は、755億円で前年比3.4%減となった。内訳をみると、ドラッグストアが370億円で同3.8%増となった一方、家電大型専門店が182億円で同15.2%減、ホームセンターが203億円で同3.7%減となった。

2 設備投資 弱含み



(資料)国土交通省

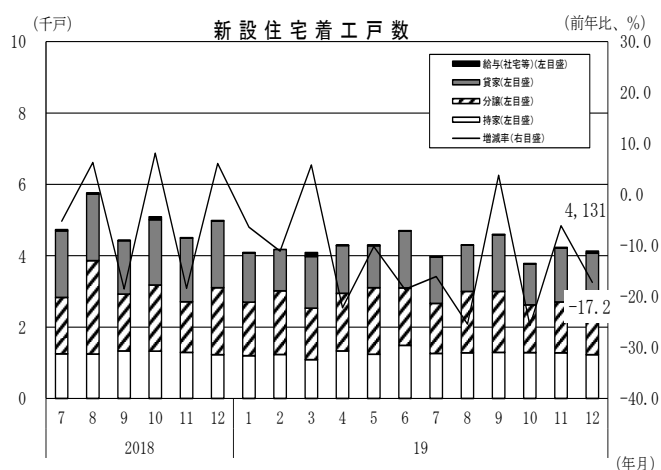
12月の民間建築着工床面積(非居住用)は、280千㎡で前年比46.6%増となった(年度初来累計では同5.0%増加)。用途別にみると、事務所は減少したものの、店舗、工場及び作業場、倉庫が増加した。



(資料)埼玉県

11月の資本財出荷指数(季節調整済)は、88.4で前月比20.6%の低下となった(2か月ぶりの低下)。

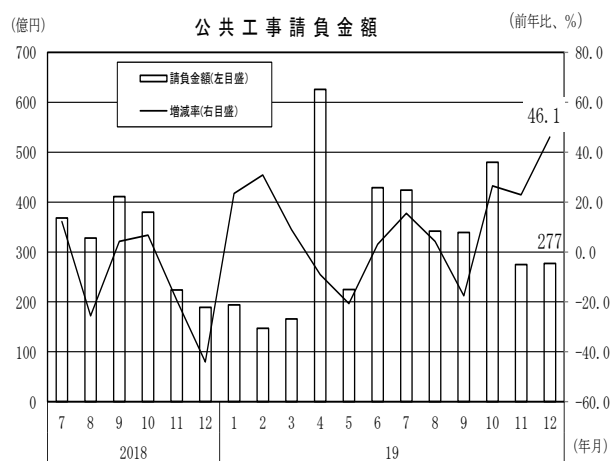
3 住宅建設 減少



(資料)国土交通省

12月の新設住宅着工戸数は、4,131戸で前年比17.2%減と3か月連続の減少となった(年度初来累計では同16.0%減少)。利用関係別にみると、持家(1,230戸)は同0.2%増となった一方、貸家(1,182戸)が同36.7%減、分譲戸建て(1,248戸)が同10.1%減、分譲マンション(368戸)が同24.6%減となった。

4 公共工事 増加

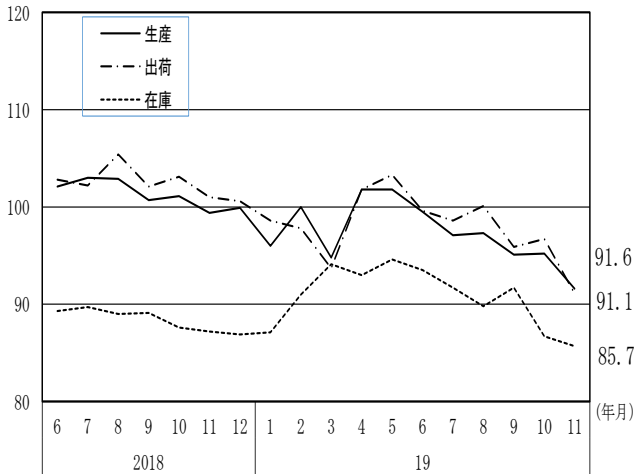


(資料)東日本建設業保証株式会社

12月の公共工事請負額は、277億円の前年比46.1%増となった(年度初来累計では同3.9%増加)。発注者別でみると、国、市区町村が減少した一方、独立行政法人等、都道府県が増加した。

5 生産活動 低下

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済) (2015年=100)



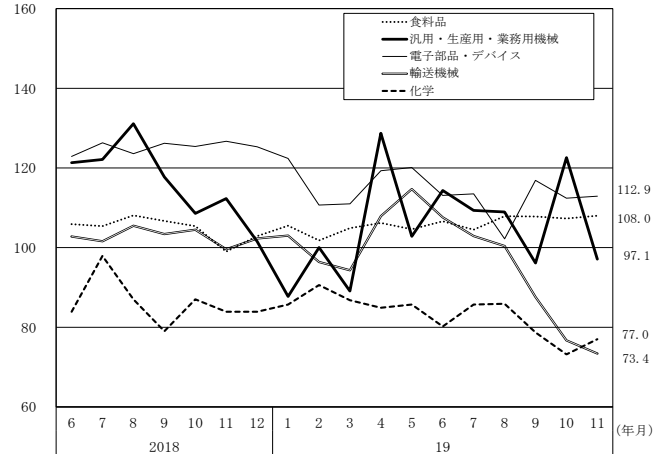
(資料)埼玉県

11月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、91.6で前月比3.8%低下した(2か月ぶりの低下)。窯業・土石製品(セメント)、化学(医薬品)が上昇したが、生産用機械(半導体製造装置)、輸送機械(自動車エンジン)、情報通信機械(カーオーディオ)などが低下した。

出荷指数(同)は、91.1で同5.8%低下した(2か月ぶりの低下)。窯業・土石製品(セメント)、業務用機械(医療用機械器具)が上昇したが、生産用機械(半導体製造装置)、輸送機械(乗用車)、情報通信機械(カーナビゲーション)などが低下した。

在庫指数(同)は、85.7で同1.2%低下した(2か月連続の低下)。電気機械(クッキングヒーター)、プラスチック製品(プラスチック製容器)が上昇したが、輸送機械(乗用車)、生産用機械(研削盤)、情報通信機械(ガス警報器)などが低下した。

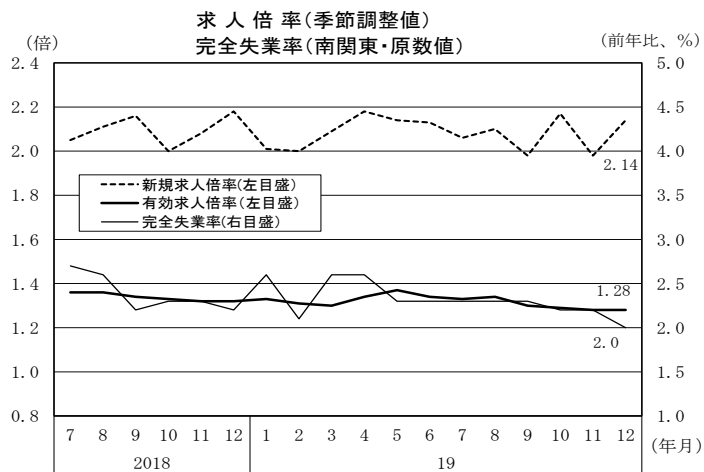
主要業種の生産指数(季節調整済) (2015年=100)



(資料)埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、108.0で前月比0.7%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、97.1で同20.8%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は112.9で同0.4%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、73.4で同4.3%低下し、6か月連続の低下となった。
- ◆ 化学(同)は、77.0で同5.2%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。

6 雇用情勢 改善

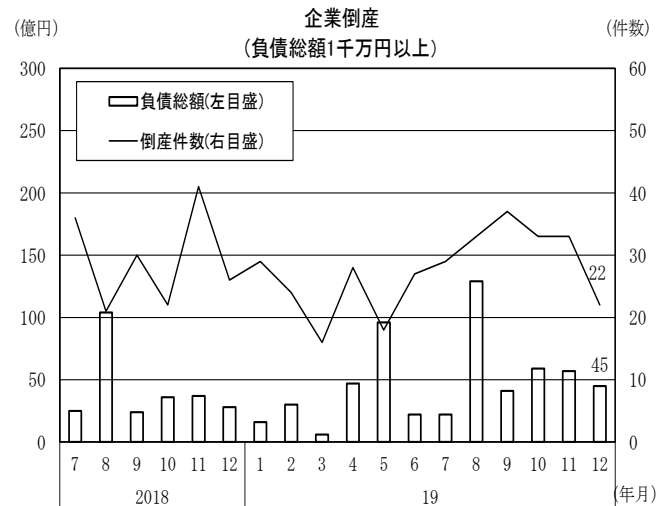


(資料)厚生労働省、総務省

12月の新規求人倍率(季節調整値)は2.14倍で前月比0.16ポイント上昇した。有効求人倍率(同)は前月比横ばいの1.28倍となった。

完全失業率(南関東、原数値)は、同0.2ポイント減の2.0%と低水準で推移している。

7 企業倒産 件数は減少、金額は増加



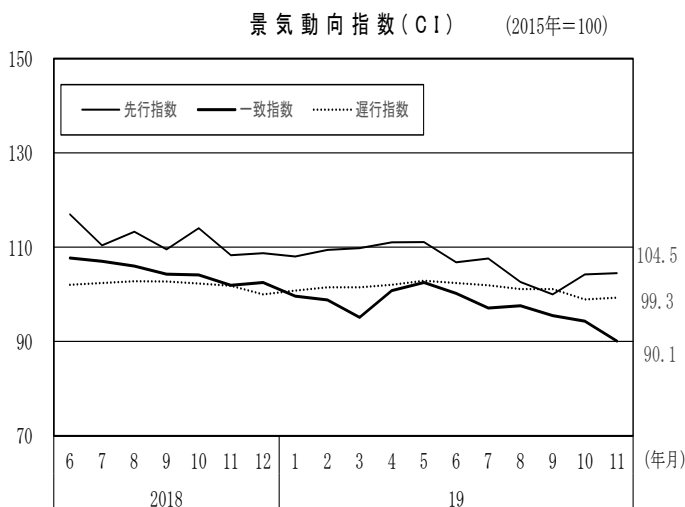
(資料)帝国データバンク

12月の企業倒産件数は、22件で前年比4件の減少、負債総額は、45億円で同17億円の増加となった。

業種別にみると、建設業が7件で最も多く、次いでサービス業が5件、製造業が4件となっている。主因別では、販売不振が19件で最も多くなっている。

〈参考〉

景気動向指数(CI) 悪化を示している



(資料)埼玉県

11月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、90.1で前月比4.2ポイント低下し、3か月連続の低下となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、104.5で同0.3ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、99.3で同0.4ポイント上昇し、6か月ぶりの上昇となった。